

浴室リフォーム工法（ユニットバス施工）

施 工 説 明 書

※本説明書はユニットバス施工に当たっての在来浴室との差異を重点的に説明しています。
施工前には各種部材に付属の施工説明書を必ず一読ください。

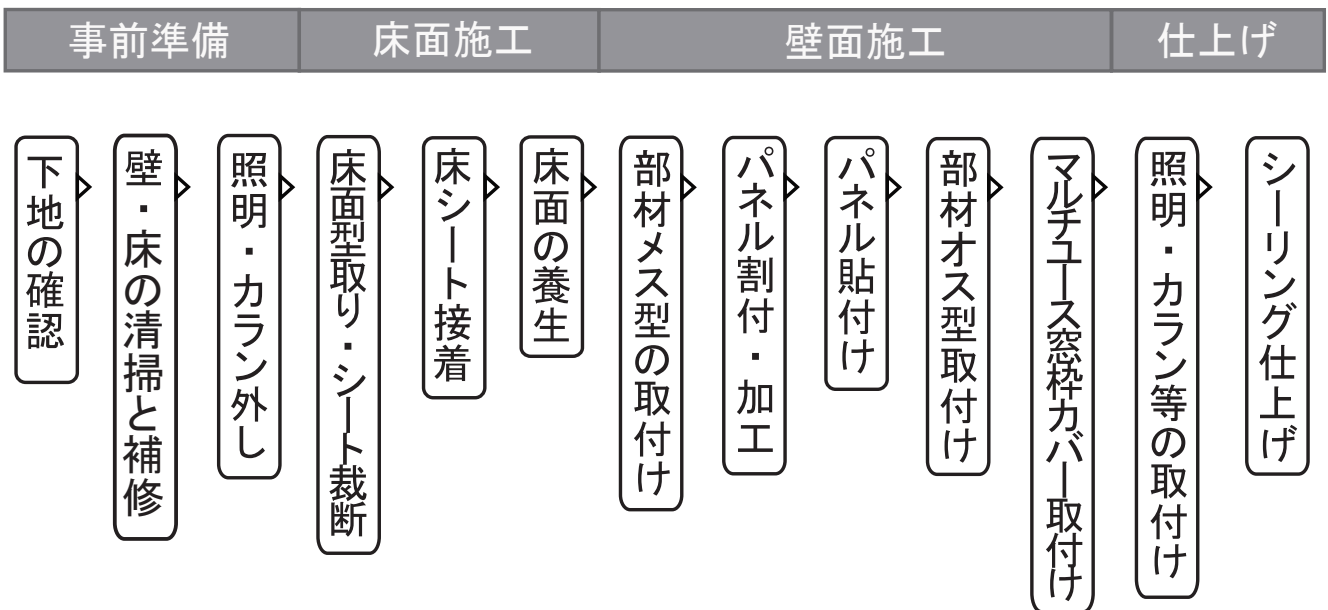
⚠注意 下地に関して

- この浴室リフォーム工法は、躯体への漏水を防ぐことを目的とするものではありません。
- 防水パンに漏水がある場合には施工することができません。
- 床暖房付きの防水パンには施工することができません。
- 下地に剥がれや浮きがある場合に施工することができません。
施工を行う場合には下地の補修を行ってください。
- 壁下地にガタツキがある場合は施工することができません。躯体の入隅・廻り縁が取れている場合など。
- 湿気を帯びた下地には施工しないでください。施工前に下地がしっかり乾燥しているか確認してください。

⚠注意 施工に関して

- 5℃以下の環境では施工しないでください。
- リフォーム工法専用の接着剤・両面テープを使用してください。
アルパレージ / アルパレージ専用接着剤・テープセット
バスミュール(もしくはサニタリーゾーンパネル)/浴室リフォーム工法用接着剤・テープセット
ペディシート / ペディシート専用接着セット R
- 各部材の施工説明書は接着剤セット梱包もしくは製品に同梱されています。
必ず施工説明書を一読ください。
- 天井はリフォームできません。
- 壁面入隅の曲面については、部材で納めることが出来る範囲で施工可能です。
部材で納めきれない曲面については施工することができません。
(バスミュール20mmRまで、アルパレージ10mmRまで)
- 床の防水パン立ち上り部分や排水溝など段差部分には、ペディシートを貼る事はできません。
- シャワーフックや棚などを再取り付けする場合には、下地の有無を確認してください。
同じ場所に取り付けする、もしくはアンカープラグもしくは中空パネル用のナット
(若井産業:メカナット)を使用するなどして、取付け後の強度を十分に確保してください。
- 着脱式の浴槽エプロンは点検や掃除の際に取り外すことがあります。
パネル及びシート施工後の壁厚・床厚がふけた際に、エプロン脱着が干渉しないか確認してください。

■ 施工手順



※施工方法の詳細及び施工にあたっての注意点については各製品に同梱してある施工説明書をご確認ください。

■ 下地の確認

下地の確認・補修は浴室リフォーム工法の施工前までに済ませておいてください。

対応下地：FRP、化粧鋼板、タイル

下地で防水が確保されていることを確認してください。本リフォーム工法は躯体への漏水を防ぐことを目的とするものではありません。

シャワーフックや手すりを再度取り付ける場合には取付け可能な下地であるか確認してください。

壁面に使用される塩ビ鋼板、FRPにはビスが効かないものがあります。裏面に当て板などが無い場合には中空用ナットを使用するなどして取付け後の強度を確保してください。

(参考：若井産業(株) メカナット)

⚠ 注意

- 下地の確認は施工前に行ってください。
- 下地の防水が取れていない場合には確実に補修を行ってください。
- 付属部材を取り付けるための下地の確認は施工前に行ってください。裏面に柔らかい断熱材が貼り付けてあるだけのパネルなどは付属部材の取付けが困難です。裏面の断熱材を一部切欠き下地を裏打ちするなど対応が必要です。施工を始める前に確認してください。

■ 下地の補修

事前に十分に清掃しておいてください。水垢、石鹸カス、ヌメリが残っているとパネル及びシートの浮きの原因になります。カビが生えている場合にはカビ取り剤でカビを除去し、仕上げに45℃以上のシャワーで流してください。清掃後には換気しよく乾燥させてください。

照明、カラン、シャワーフック、鏡などを取り外してください。ビス止めの位置(下地の位置)は控えておいてください。既存の入隅、廻り縁は外さないでください。

⚠ 注意

- サビを落とす際は必ず床面を養生してください。サビを浴室に残すともらいサビの原因となります。
- 既存の入隅、廻り縁、ジョイントを外すと壁面パネルががたつく可能性があります。
- 汚れは接着工法においてパネル及びシートの密着性の低下につながります。清掃はしっかりおこなってください。

【壁面の補修】

入隅や水栓接合部分のシーリングが切れている場合にはシリコンを充填して防水してください。ビス穴などの開口にはシリコンを充填しふさいでください。

ケレン工具で化粧板表面の塗膜が剥がれてこないか確認してください。

部分的に腐食しているなど劣化が軽微なものについては補修・防水することでパネルを施工することができます。浸水による膨れ、剥がれは除去して錆が発生している箇所は防錆処理と防水処理を行ってください。錆は可能な限り除去してください。よく乾燥させた後に錆が進行しないよう防錆剤を塗布しパテ処理してください。パテ処理の凹凸がある場合はサンドペーパーで削ってフラットにしてください。FRP については水あかなどの汚れが付着しテープ・接着剤の密着性が悪い場合には軽くサンディングしてください。

⚠ 注意

- 壁面の表層に剥がれがある場合は取り除いてください。
- ケイカル板や FRP 巾木で下地を調整する場合には周囲を確実にシーリングしてください。

【床面の補修】

床面の水あかや石けんカスなどの汚れは念入りに取り除いてください。

タイルが埋め込んである部分については目地部分も清掃しよく乾燥させてください。目地部分に水分が残っているとペディシートの浮きの原因になります。

FRP面についてはケレン工具で表面塗膜が剥がれてこないか確認してください。浮いている部分についてはこそげとってください。シートを貼った際に床の凹凸が浮き出てくる場合には下地の補修を行ってください。

⚠ 注意

- 床面にクラックが入り漏水している躯体には補修を行ってもペディシートを施工することはできません。漏水の補修目的に使用することはできません。

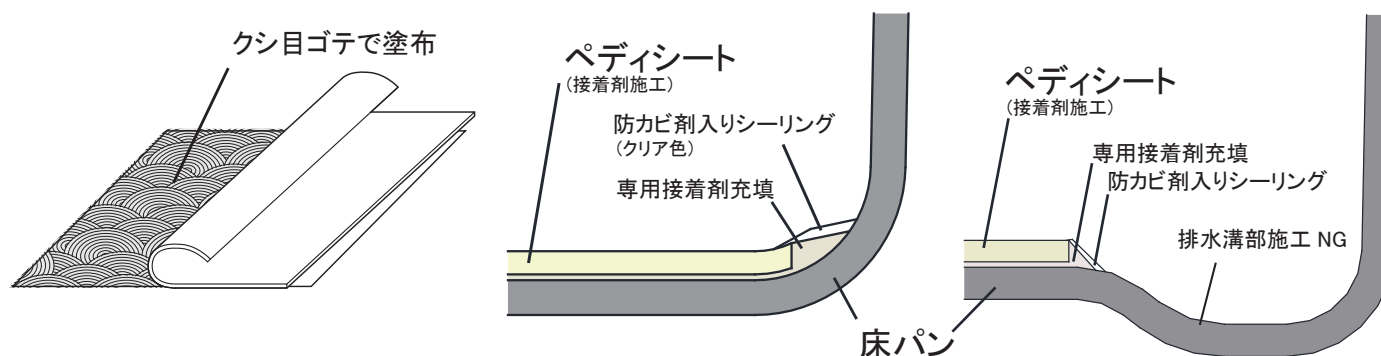
■ペディシートの施工

床の平面にのみ施工することができます。防水ペンの立ち上りや排水溝には施工することができません。
着脱式の浴槽エプロンの際まで施工する場合にはエプロン取り外しの際に干渉しないか確認してください。

施工の詳細は「ペディシート専用接着剤セット R」に同梱してある施工説明書をご確認ください。
施工前に中性洗剤などで清掃し汚れを落としてください。汚れがおちない場合には、表面をサンディング後に施工してください。

《ペディシート施工の概略》

- 施工を始める前に床面が乾いているか確認してください、湿っているとシート浮きの原因となります。
- 床面の型紙を作製して施工面の型取りを行ってください。端部はシーリングにより納めますので施工する端から5mm程小さく型紙を作製してください。シートを型紙に沿って裁断します。
- 続いて、床面の排水溝などの接着剤を塗布しない部分にマスキングをしてください。
接着剤をクシ目ゴテを用い、床の凹凸を埋め込むようにクシ目を立てながら塗布します。塗布量の目安は0.5坪で約1.5本程度です。
- 接着剤の貼り付け可能時間は接着剤塗布後約30分です。床シートを接着し、床用ローラーもしくは角材にタオルを巻きつけた棒でしごきしっかり圧着してください。
このとき中央から外側に向かって空気を押し出す様に圧着してください。
- シート端部に専用接着剤を充填し、硬化後その上から防カビ剤入りのシーリング剤でシーリング処理を行ってください。
次の作業に移る際には床面の養生をしっかりと行ってください。



⚠️注意

- シートの巻き癖は逆巻きにするなどして取ってから施工してください。
- 接着剤塗布後すぐに接着剤の硬化が始まります。すみやかに貼り付け作業を行ってください。
- シート圧着の際に空気の巻き込みによる浮きがないか確認してください。

■アルパレージの施工

施工前に中性洗剤などで清掃し汚れをおとしく乾燥させておいてください。

化粧パネル表面の塗膜が剥がれてごみかケレン工具を用いて確認してください。鋼板露出部分は補修を行ってください。防水は躯体で持たせますので錆などによる穴あきや漏水がある場合は確実に補修を行ってください。

施工の詳細は「アルパレージ専用接着剤・テープセット」に同梱してある施工説明書をご確認ください。

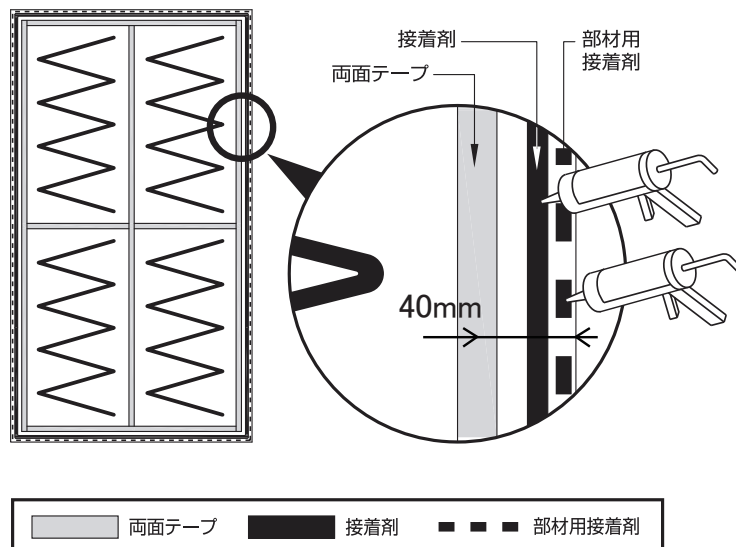
《アルパレージ施工の概略》

○パネルの割付及び部材・パネルの加工をおこなってください。パネルのカットは当木を用いて化粧面から切り傷を入れ、化粧面を表にして折り曲げます。裏面にバリが出た場合にはかんなを使って面取りしてください。加工道具としてはカッター、ホルソー、丸ノコが使用できます。

○施工は時計回りに行ってください。仮留めテープを躯体側に貼り付けてください。縦方向は750mmピッチ以下、横方向410mmピッチ以下で仮留めテープを貼り付けてください。パネル端部には接着剤を塗布するスペースを残してください(40mm程度)。

○仮留めテープの離型紙を剥がし接着剤を塗布してください。両面テープ間は波線状、端部は直線状に塗布してください。部材用の接着剤を部材取り付け位置に塗布してください。

○部材は先に壁面に取り付ける、パネルにくわえ込ませ施工もしくはパネル施工後に脇から差し込んで施工します。入隅セパレートタイプを使用する場合には先にベース材を壁面に取り付けてください。



○パネルを貼付・圧着します。貼り仕舞いのパネルについては部材をパネルにくわえ込ませて施工してください。圧着の際は接着剤塗布部分を強く抑えすぎると接着剤が泣き別れするため、両面テープ部分を強く圧縮してください。

○最後に部材の位置調整を行い。床面側の見切と壁との隙間や入隅部の隙間にシーリングを行ってください。

⚠️ 注意

- 必ず専用接着剤及び両面テープを使用してください。
- 接着剤塗布後 10 分以内にパネルを貼り付けしてください。
- 接着剤は仮留めテープ厚さより 3mm 高くなるように塗布してください。
- 接着剤はパネル(3×8 尺)2 枚に対して3 本が塗布目安です。

■バスミュール(もしくはサニタリーゾーンパネル)の施工

施工前に中性洗剤などで清掃し汚れをおとしく乾燥させておいてください。

化粧パネル表面の塗膜が剥がれてこないかケレン工具を用いて確認してください。鋼板露出部分は補修を行ってください。防水は躯体で持たせますので錆などによる穴あきや漏水がある場合は確実に補修を行ってください。

施工の詳細は「浴室リフォーム工法用接着剤・テープセット」に同梱してある施工説明書をご確認ください。

《バスミュール(もしくはサニタリーゾーンパネル)施工の概略》

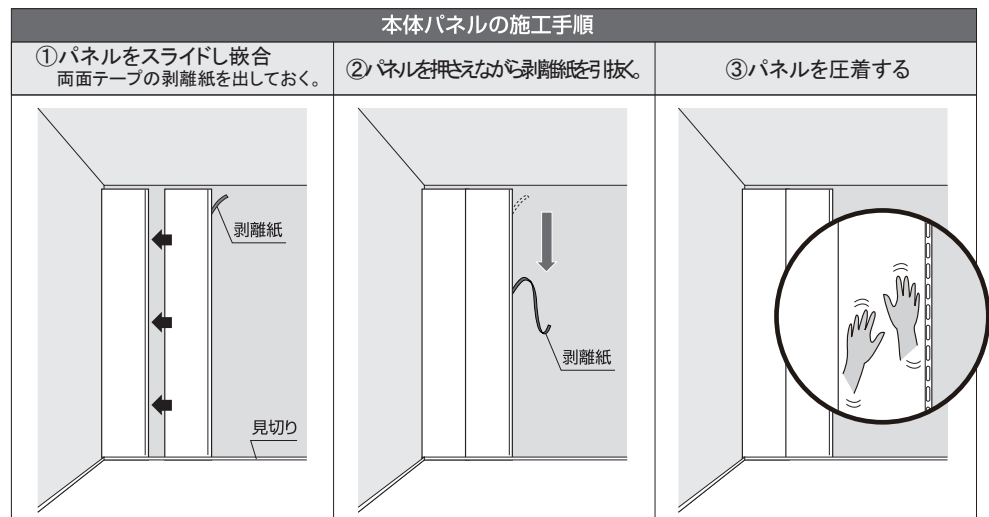
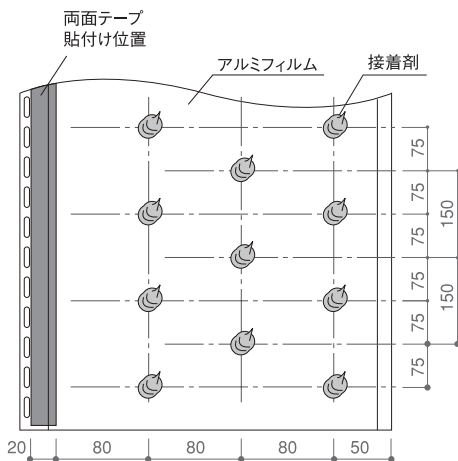
本体パネルは、センター割付にしてください。貼り仕舞いパネルの中が狭くなりすぎて施工が難しくなる可能性があります。施工は時計回りに行ってください。

○部材のメス型の裏面にテープを貼り、下地に取付けてください。見切に関しては設置面より3mm隙間を確保してください。部材は開口部まわり、壁-天井の境、壁-床の境、壁-浴槽の境及び入隅、出隅部分に施工します。

○本体パネルの割付加工を行ってください。パネルの加工にはカッター、ホルソー、丸ノコが使用できます。

○両面テープ・接着剤をパネル側に塗工し、パネルを貼り付け・圧着してください。両面テープはパネルの片側(樹脂基材-アルミ箔の境界辺り)に貼り付けてください。

○シーリングにより水仕舞いを行ってください。見切り-壁隙間や開口枠や入隅に生じた隙間など。

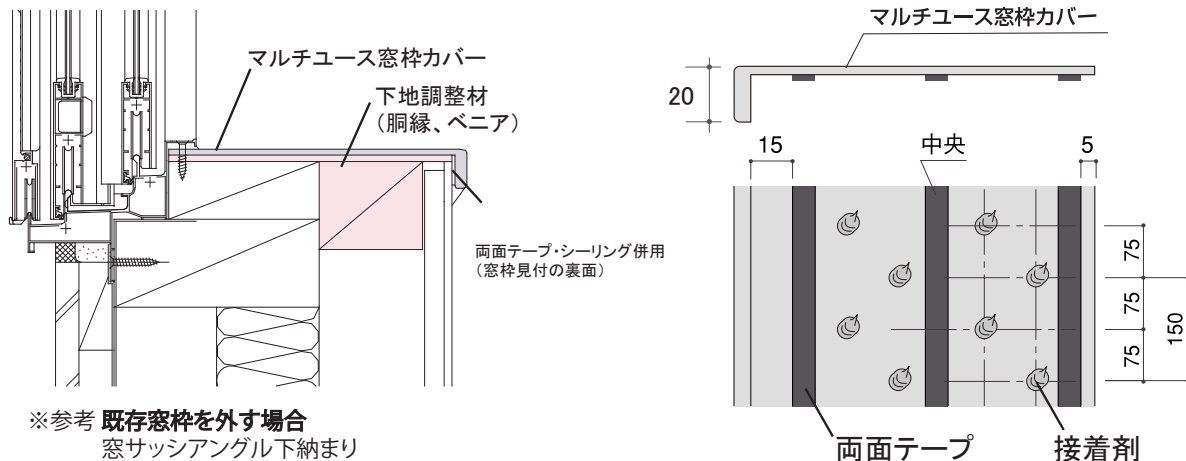


⚠注意

- 必ず専用接着剤及び両面テープを使用してください。
- 接着剤塗布後 10 分以内にパネルを貼り付けしてください。
- 接着剤 1 本で 2.4m²パネル 5 枚分 (3.75m²) が塗布目安です。

■ マルチユース窓枠カバーの施工

マルチユース窓枠カバーを製品に同梱されている両面テープとシーリング剤を併用して下地に貼付けます。既存の窓枠を外し取付ける場合には、窓台とユニットバス壁面間に下地を作製し貼り付けてください。最後にコーナーピースをシーリング剤で接着し、コーナーピースー窓枠間隙間、窓枠ーサッシ間隙間、窓枠ー壁面パネル間隙間をシーリングし水仕舞いを行ってください。



⚠ 注意

- 窓枠カバーを取り付ける際には水勾配が取れているか確認してください。
- 水仕舞いのシーリングは確実に行ってください。漏水の原因となります。
- 既存窓枠にマルチユース窓枠カバーをかぶせる場合には既存窓枠の見付寸法(前垂れ部)が17mm以上の場合は施工できません。